

第7回三国保健大臣会合 共同声明
2014年11月23日、北京、中国（仮訳）

我々、中国、日本、韓国の保健大臣は2014年11月23日に中国北京に集い、保健及び医療における三国共通の課題について議論を行った。議論の内容はパンデミックインフルエンザ及び新興・再興感染症、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ、人口の高齢化、非感染性疾患の予防とコントロール、保健関連ミレニアム開発目標であった。

I. パンデミックインフルエンザ及び新興・再興感染症

三国協力の発端であるパンデミックインフルエンザにおける迅速かつ万端な対応を確保するための共同の取組は、この8年間で強化されてきた。2007年に締結されたパンデミックインフルエンザの共同対応に関する覚書や、その翌年に署名された共同行動計画に基づき、我々は机上訓練、セミナー、フォーラム等の様々な協力的な取組を行ってきた。我々は、2009年に発生したパンデミックインフルエンザA(H1N1)及び2013年に発生した鳥インフルエンザA(H7N9)における対応、また、中東地域で発生している中東呼吸器症候群や最近西アフリカ地域で発生しているエボラ出血熱における対策において、緊密に協力してきた。

我々は、2013年に、この協力体制を新興/再興感染症に対象範囲を拡大することに同意しパンデミックインフルエンザ及び共通の課題である新興/再興感染症における覚書と共同行動計画を改訂し、そこに定めた枠組みに基づいた緊密な協力における意義を認識した。我々は、この枠組みに基づき、エボラ出血熱に関する対策において、緊密かつ円滑な情報共有が行われていくことを歓迎する。

II. ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC)

我々は、持続可能な医療財政、国民皆保険及び社会医療保険に関するWHO総会58.33決議、持続可能な医療財政及び国民皆保険に関するWHO総会64.9決議、及び国際保健と外交戦略に関する国連総会の67/81決議を支持する。我々は、UHCの研究に関するWHOの今般の報告書にあるように、この分野の研究の重要性を更に認識した。

昨年4月に初のステアリング委員会会合が開催され、第67回WHO総会におけるUHCサイドイベントでUHCに関する意見交換を行ったように、UHCに関するASEAN+3ネットワークの構築への三国の積極的な貢献を支援した。

我々は、UHCが三カ国の協力の重要な分野であることを再確認した。我々は、被保険者の拡大、効率化、補償サービス向上に資する戦略及び好事例を見出す努力を続ける。我々は、関係者の恒常的な交流及び協力を推進し、全人口に経済的な困難を背負う危険性なく、安全で効果的かつ高品質で手の届くプライマリー・ヘルス・ケアを提供するための経験の共有を続ける。

III. 人口の高齢化

人口動態の変化が、医療、長期ケア、社会的ケアの需要の増大と共に、さまざまな点で我々

の社会の課題となること、また、高齢者は相当な人口がいるが、十分に活用されていない人材であること、現在の医療制度及び人材システムの改善は、急速な高齢化社会への時宜に適った適応となることを認識した。

人口の高齢化を第6回産後億保健大臣会合のアジェンダに取り上げ、充実した議論を行い、実りの多い議論により、政府関係者と専門家が好事例や先進的な研究成果を共有することとなったことを再認識した。

我々は、人口の高齢化対策に関する一層の協力が有益であることを確信した。中国、韓国も参加した、世界認知症レガシー・イベント・ジャパンの成果を認識した。我々は、各国の保健システムに関して、高齢化への対応能力に係る比較研究を開始している中国の努力に敬意を表す。我々は、より緊密に連携することとし、本日、後ほど開催される健康的な高齢化社会に関するフォーラム及び2014年12月に韓国ソウルで開催されるハイレベル高齢化会合を歓迎する。

IV. 非感染性疾患の予防とコントロール

非感染性疾患の世界経済への負荷は精神疾患を加えると47兆米ドルと推計され、今後20年間に特に財政面でヘルス・システムの大きい課題となることを認識した。

第5回及び第6回三国保健大臣会合の共同声明で大いに強調された非感染性疾患の予防とコントロールについて、成果が認められ、情報共有や、中国、日本の政府関係者や専門家を招いた三国NCDシンポジウムにおける韓国のイニシアチブの下で三国のコミットメント完遂することを再認識した。

我々は、心血管疾患、がん、慢性呼吸器疾患、糖尿病に代表される非感染性疾患の予防とコントロールについて、我々の共通の課題と目標を認識し、これに対してコミットすることを確認した。また、2013年5月に開催された第66回WHO総会で採択され、2014年5月にWHO総会A67/14事務局文書として承認された、非感染性疾患の予防とコントロール2013-2020行動計画及び第22回APEC経済リーダー会議で承認された「ヘルシー・アジア・パシフィック2020」は、地域の最も重大な負荷である非感染性疾患の予防とコントロールには、包括的で地域に根付いた介入が必要であると指摘していることを再確認した。

V. 保健関連ミレニアム開発目標

第65回国連総会で決定された母子保健の世界戦略の実行に係る決意と保健関連ミレニアム開発目標の達成をモニターし、人類の発展に於けるその重要性を強調する第4回三国保健大臣会合やWHO総会事務局文書A67/19及びA67/20への支持を再確認した。

三国保健大臣会合で我々は、この分野での協力を国連ミレニアム開発目標の目標年である2015年まで継続することを決定した。我々は、UHCの概念とその推進がポスト2015年開発アジェンダに含まれるべきであることの考えを共有した。

VI. 次回開催

我々は、保健大臣会合は毎年開催されるものであり、すべての活動は平等、相互の尊敬、

互恵みを基礎とし、他の国際保健機関の目標及び活動に沿うものであり、また、現時点で確立されているそれぞれの国の研究機関や個人との関係を推進するものであることを確認した。
次回は2015年に日本で開催される予定である。

※英文との齟齬がある場合は英文を優先すること。